第22回全国中学高校Webコンテスト
JPドメイン名の登録と利用について

2019年9月２日

学校インターネット教育推進協会

■ 目次

1. はじめに
2. ドメイン名とは
3. ドメイン名の利用形態
4. どのようなドメイン名が望ましいか
5. ベストドメインネーミング賞
6. 登録期間と利用開始日
7. 登録方法
8. ドメイン名の有効期限

1.　はじめに

本コンテストでは、ドメイン名をWebサイト制作の一つの要素と位置づけています。

「作品を提出するチーム」は必ず登録して利用するものとします。（※校内選考がある学校で校内で落選したチームは対象外とします。）

なお、ドメイン名は各チームのWebサイトで利用できるようにします。（一般ユーザーへのWebサイトの周知は登録したJPドメイン名を使って行うものとします。）

また、作品をアピールする上で最も効果的かつ適切なドメイン名をつけた作品には、「ベストドメインネーミング賞（JPRS特別賞）」が授与される予定です。

チームは、以下のガイドをよく読み、所定の手続きにしたがって、ドメイン名の登録を行うようにしてください。

2.　ドメイン名とは

ドメイン名は、「インターネット上の住所」のようなものです。インターネット上のコンピュータを識別するための名前で、WebサイトのURLやメールアドレスなどで使われています。

http://example.co.jp

info@example.co.jp

※赤字の部分がドメイン名を表します。

JPで終わるドメイン名は「JPドメイン名」と呼ばれ、株式会社日本レジストリサービス（JPRS）が管理しています。

JPドメイン名の種類としては大きく4つの種類があります。
本コンテストで登録・利用するドメイン名は、汎用JPドメイン名となります。

汎用JPドメイン名：

日本に住所があれば誰でも登録できます。日本語での登録も可能です。
今回利用するのは、汎用JPドメイン名です。

例　：　example.jp　日本語ドメイン名.jp

都道府県型JPドメイン名：

「○○○.hokkaido.jp」、「○○○.tokyo.jp」、「○○○.nagasaki.jp」のように、全国47都道府県の名称を含むJPドメイン名。 個人でも組織でも、日本に住所があれば誰でも登録できます。登録できるドメイン名の数に制限はありません。漢字やひらがなどを用いた日本語ドメイン名も登録できます。

例　：　example.tokyo.jp　日本語ドメイン名.tokyo.jp

属性型JPドメイン名:

CO.JP（企業）、AC.JP（大学等）など、組織の種別ごとに区別されています。

例　：　例：example.co.jp

JPドメイン名を利用するメリットとしては、アドレスが覚えやすく、伝えやすくなる点があげられます。

3.　ドメイン名の利用形態

各チームに提供されるJPドメイン名は、それぞれのチームの作品のURLを
指すように事務局側で設定を行います。

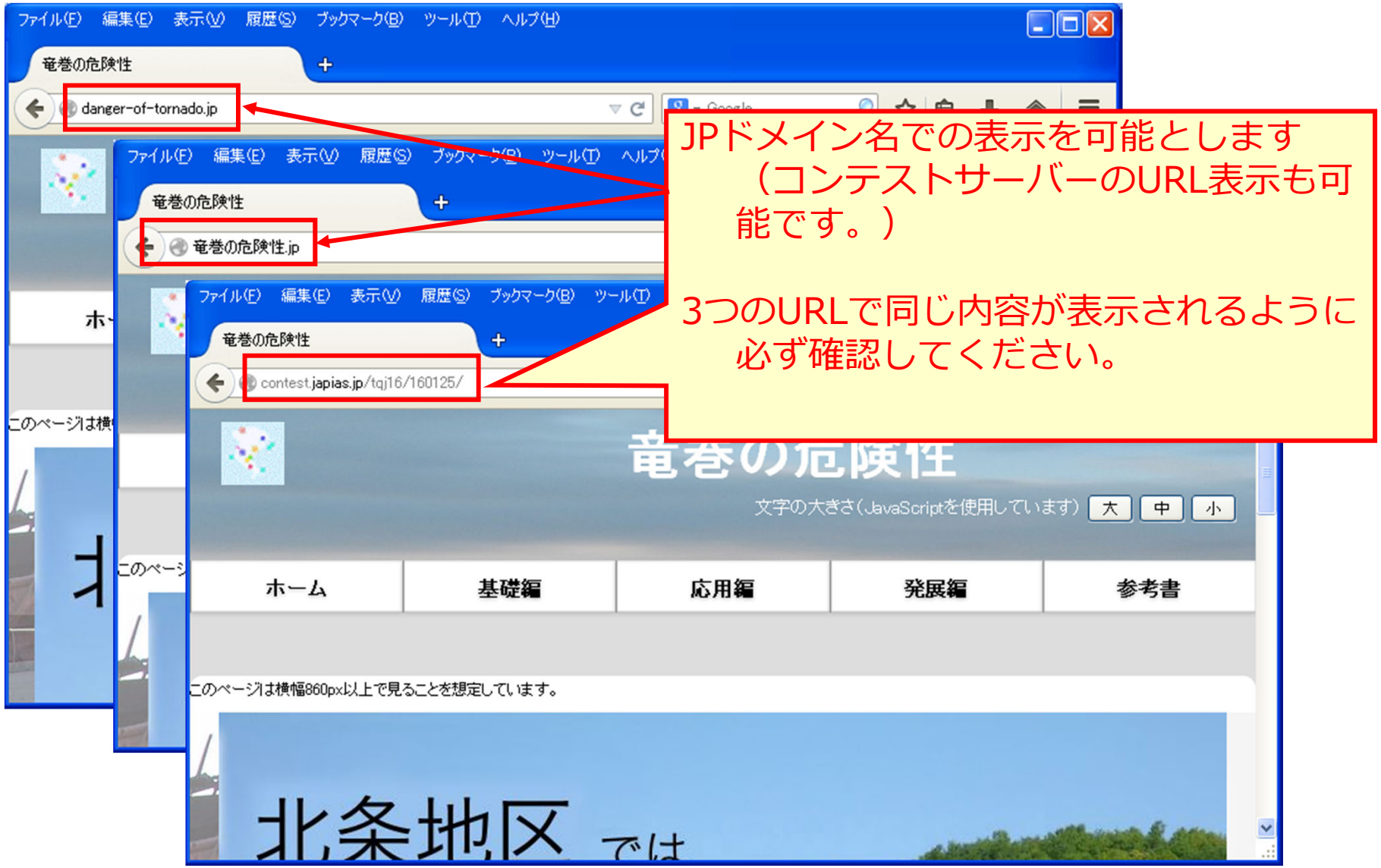
http://example.jp/　および　http://www.example.jp/

⇒http://contest.japias.jp/tqj22/チームID/

http://日本語.jp/　および　http://www.日本語.jp/

⇒http://contest.japias.jp/tqj22/チームID/

※「example」「日本語」の部分はチームが希望する文字列を表します。


竜巻の危険性
danger-of-tornado.jp
竜巻の危険性.jp
contest.japias.jp/tqj16/160125/
JPドメイン名での表示を可能とします
（コンテストサーバーのURL表示も可能です。）
3つのURLで同じ内容が表示されるように
必ず確認してください。
竜巻の危険性
文字の大きさ（JavaScriptを使用しています）
大
中
小
ホーム
基礎編
応用編
発展編
参考書
このページは横幅860px以上で見ることを想定しています。
北条地区

4.　どのようなドメイン名が望ましいか

- ドメイン名はWebサイトにアクセスする時に使われます。
- チームの皆さんには、作品の内容を表すにはどんなドメイン名がふさわしいか、どのようなドメイン名ならユーザーが覚えやすくアクセスしやすいか、を考えて、ドメイン名を決めていただきたいと思います。
- 具体的には、次のような観点を考慮してください。（次ページへ）

- **応募作品(Webサイト)の内容が伝わりやすい。**
  ドメイン名は作品名とともに、皆さんの作品をユーザーに伝える重要な情報となります。ユーザーがドメイン名を見たり聞いたりした時に、どんな作品 (Webサイト)か想像しやすいドメイン名をつけるようにしましょう。

- **わかりやすく、覚えやすい。**
  長すぎるドメイン名、凝りすぎたドメイン名は、伝える時は印象的でもユーザーが実際にアクセスしたい時に思い出せないことがあります。印象的でありながら、ユーザーがわかりやすく覚えやすいドメイン名をつけることが重要です。

- **ユーザーが入力しやすい。**
  造語であったり、「-」(ハイフン)を多用すると、ユーザーがアクセスする際に入力ミスが起きやすくなります。アドレスバーなどへの入力が容易だったり、誤った入力が起こりにくいドメイン名を選択することが大切です。

5. ベストドメインネーミング賞

作品をアピールする上で最も効果的かつ適切なドメイン名をつけた優秀作品の制作チーム（1チーム）に対して、株式会社日本レジストリサービスより特別賞として**「ベストドメインネーミング賞」**が授与されます。

選考対象	セミファイナリストに選ばれたチームで、かつ登録したドメイン名をどのようにアピールしたかについてのレポートを提出したチーム
レポートの内容	1. 登録したドメイン名をどのようにアピールしたか 例： 知人や家族、親戚などに伝えた 、ポスターやチラシなどに記載した 、検索サイトに登録した 等
	2. 1のアピールはどのような結果に結びついたか。 例： 短いドメイン名を選んだので、口頭でも伝えやすかった わかりやすいドメイン名を選んだので、覚えてもらいやすかった 検索サイトで上位に表示されるようになった 等
レポートの文字数	400字以内
レポートの締め切り日時	2020年1月11日（土）午後5時（セミファイナリストへの課題の締め切り日（1月8日）より3日後です。）
提出方法	セミファイナリスト発表日に、セミファイナリストチームのリーダーおよびコーチのメールアドレスに対し、登録フォームのURLをメールにてご案内します。応募するチームは、メールに記載された登録フォームにアクセスしてレポート提出を行ってください。 （※メール添付で事務局に送信しないようご注意下さい。）
選考基準	作品とドメイン名との整合性（内容を適切に反映しているか）やドメイン名の覚えやすさ等
副賞	準備中

- 第19回コンテスト
  「大地震に備えよう」
  http://EARTHQUAKE-WEB.JP
  http://地震.JP

- 第20回コンテスト
  「学ぼう！感染について」
  http://kansen-manabu.jp
  http://感染.jp

6.　登録期間と利用開始日

- 登録受付期間
  2019年11月5日（火）～11月14日（木）17時

- 利用開始日
  11月下旬予定

7.　登録方法

STEP1　自分たちの作品につけるドメイン名を考えましょう

STEP2　希望するドメイン名が登録できるか調べましょう

STEP3　希望するドメイン名を登録サイトに入力しましょう

STEP1 自分たちの作品につけるドメイン名を考えましょう

- 登録できるドメイン名は、汎用JPドメイン名2つです。
  （「英数字ドメイン名」1つと「日本語ドメイン名」1つ）です。
  英数字ドメイン名の例：example.jp
  日本語ドメイン名の例：日本語.jp

- 当コンテストでは、それぞれのドメイン名で登録できる文字数は次の通りとします。
  英数字ドメイン名：3文字以上20文字以下
  日本語ドメイン名：1文字以上15文字以下

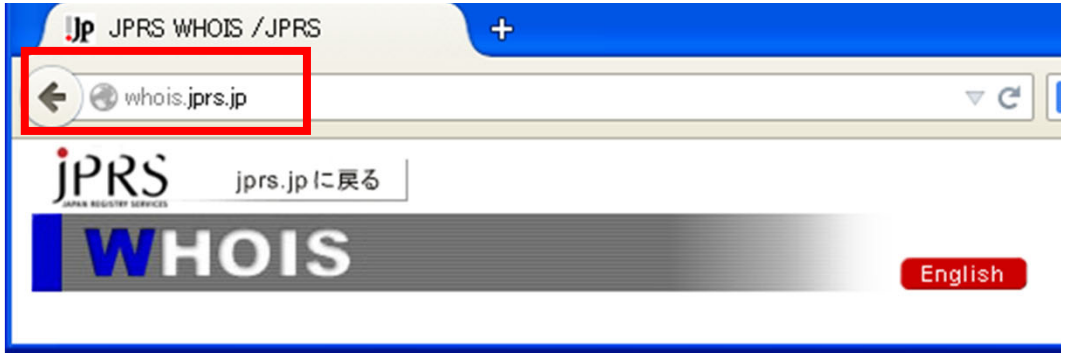
- 当コンテストでは、ドメイン名で使える文字は次の通りとします。
  英数字ドメイン名：半角英数字（a～z、0～9）・半角のハイフン「-」
  ※ただし、ハイフン（-）は先頭や末尾、また（--）など連続して使うことはできません。
  日本語ドメイン名：全角ひらがな・全角カタカナ・漢字
  半角英数字（a~z、0～9）
  ※記号や絵文字は登録できません。

STEP2 希望するドメイン名が登録できるか調べよう

各ユーザーが使うドメイン名は必ず唯一無二の存在でなければなりません。

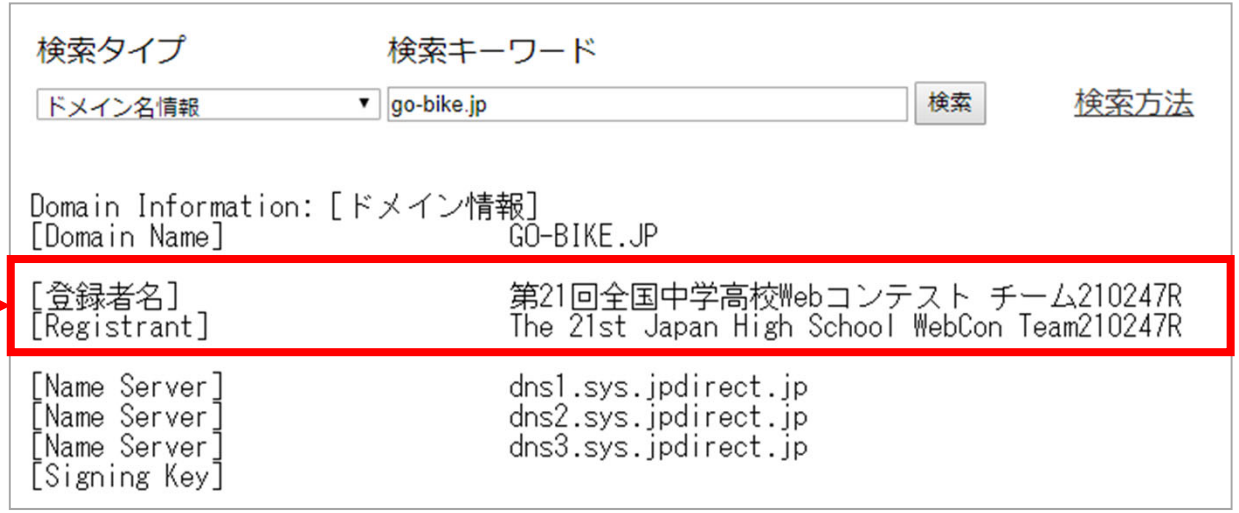
従って、すでに誰かが登録しているドメイン名を後から別の人がだぶって登録することはできません。

自分達が希望するJPドメイン名が他の人や団体に使われていないかどうか、ドメイン名のデータベースである「Whois（フーイズ）デー タベース」を利用しましょう。



調べる方法

- https://whois.jprs.jp/　にアクセスします。
- 検索窓に付けたいドメイン名を入れて、検索ボタンを押します。
- 具体的なドメイン名情報が出てくれば既に登録されていることがわかります。
- 「go-bike.jp」は登録できないことがわかりました。



- 次に、「gogobikem.jp」で調べてみます。

6. 「該当するデータがありません」と出ましたので登録できることがわかりました。

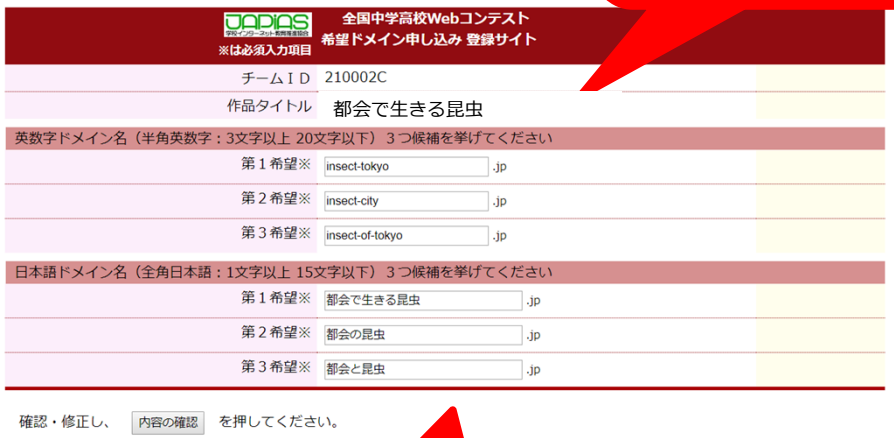
STEP3 希望するドメイン名を登録サイトに入力しましょう。

- 登録作業はチームのドメイン名担当者（生徒またはコーチの中で事務局との連絡窓口になるドメイン名担当者を決めて下さい）が行うようにして下さい。

- 登録開始時に、事務局から各チームのコーチおよびリーダーに「希望ドメイン名　申込登録サイト」のURLをメールにて送信します。このサイトは、各チームに1つずつ専用のURLにて用意されています。画面に表示されているチームIDとタイトル名を確認の上、「Step2」で確認したドメイン名（全6つ）の入力を行って下さい。

- ※登録サイトへの入力は締切日時（11月14日17時まで）まで可能です。

受理されている
チームIDと
タイトル名が表
示されます。



６か所ともに、
文字列のみを入力して下さい。
「.jp」は不要です。

締切日時（11月14日（木）17時）まで、何度でも更新（変更）可能です。
締切日時時点に入力されているドメイン名で申し込まれます。
※入力後の自動返信メールはないので、このページを印刷し自分たちが申し込んだドメイン名を忘れないよう保管するようにしてください。

注意事項　1

- ドメイン名情報としてJPRS Whoisデータベースにおいて、ドメイン名および登録者名（登録者名は「第22回全国中学高校Webコンテスト チームXXXXXX」という形式で公開されます。

- 個人情報については、学校インターネット教育推進協会事務局が管理を行い、一般に公開されることはありません。

注意事項　2

- 各チームから申込受付をしたドメイン名は、締切後に、事務局でまとめて、JPドメイン名の登録機関である日本レジストリサービス（JPRS）に一括で申請 されます。

- 各チームがWhoisデータベースでチェックしてから、事務局がJPRSに申請を行うまでの間に時間があるため、場合によっては第一希望のドメ イン名が登録できないこともあります。このような場合には、第二希望（第二希望のドメイン名も登録できない場合は第三希望）のドメイン名が登録されること になります。

注意事項　3

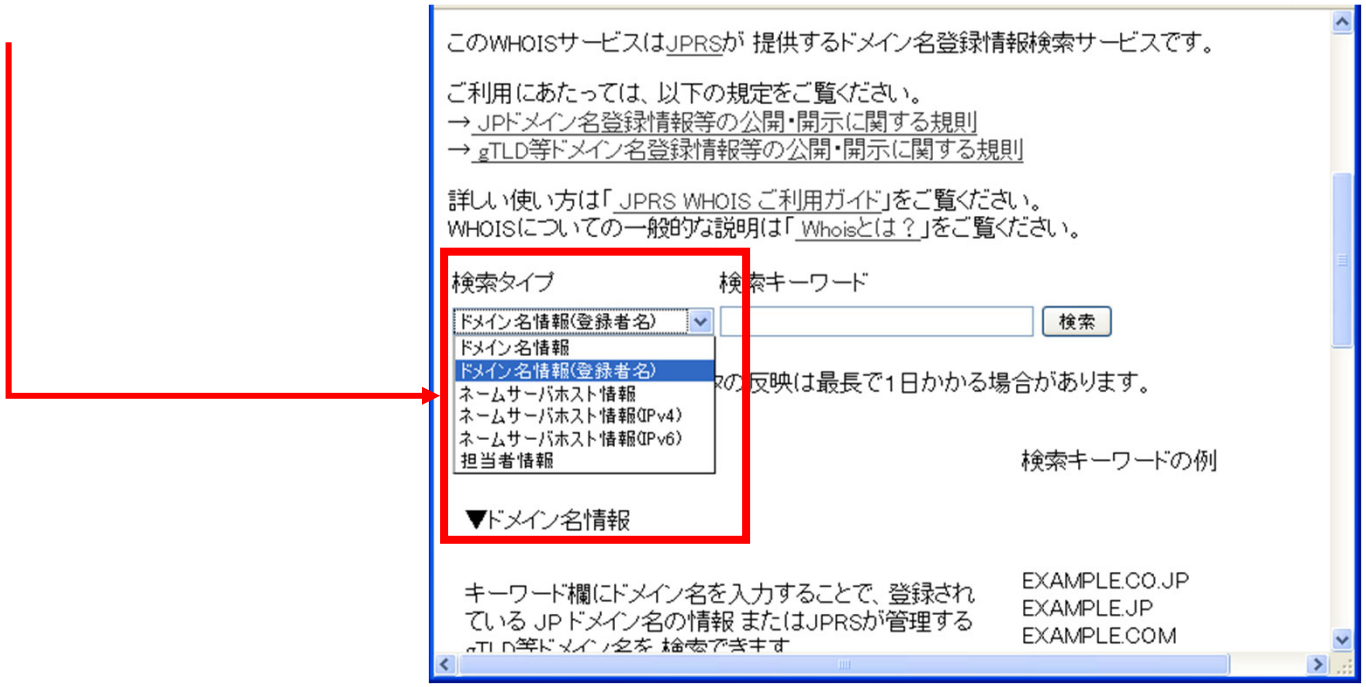
- 複数のチームが同じドメイン名を希望した場合、事務局内にて抽選を行います。抽選は、事務局長監視のもと、事務局スタッフがチームの代理となり厳正に行う ものとします。なお、抽選に敗れたチームは、第二希望のドメイン名を登録することになります。 また、その第二希望ドメイン名が他のチームの第一希望ドメイン名とぶつかる場合は、第三希望ドメイン名を登録することになります。

注意事項　４

- 注意1～３にあげた理由などにより、必ずしも第一希望のドメイン名が登録できるとは限りません。よって、どのドメイン名が登録されたのか、その結果を次ページの方法にて確認するようにしましょう。

登録されているドメイン名を確認する方法

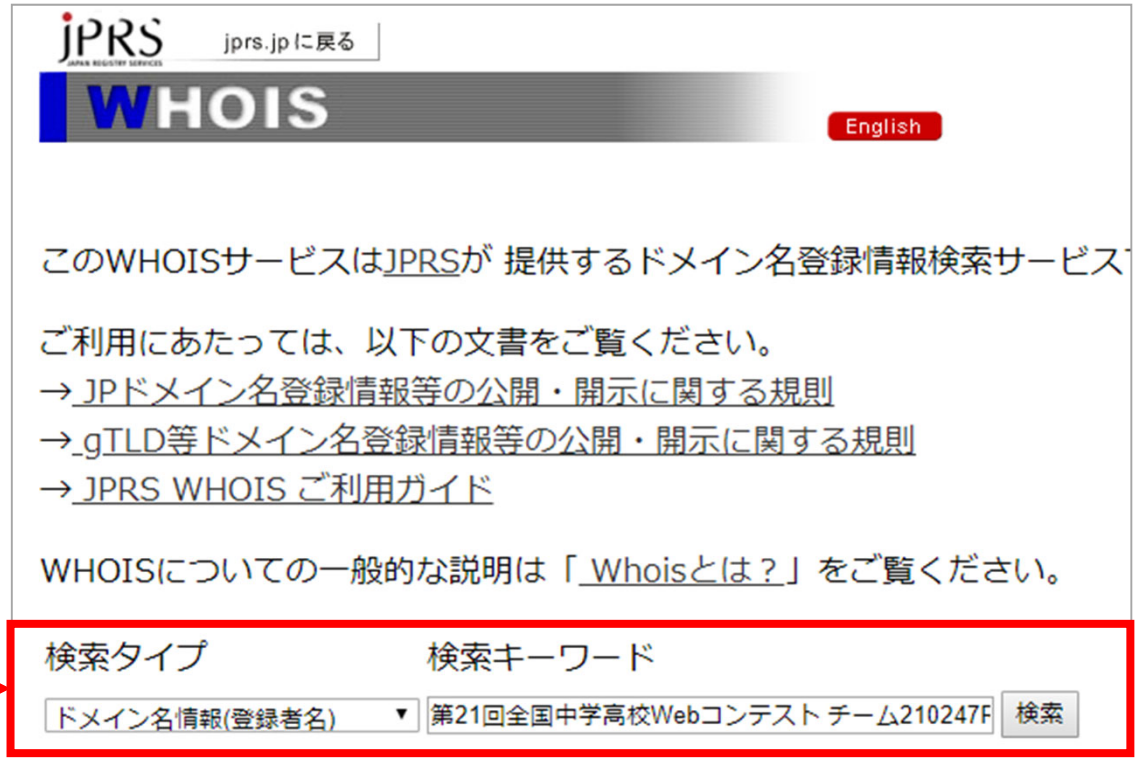
1. 検索タイプから「ドメイン名情報（登録者名）を
クリックします。



2.　検索キーワードに
　　「第22回全国中学高校Webコンテスト チームXXXXXX」と入れます。

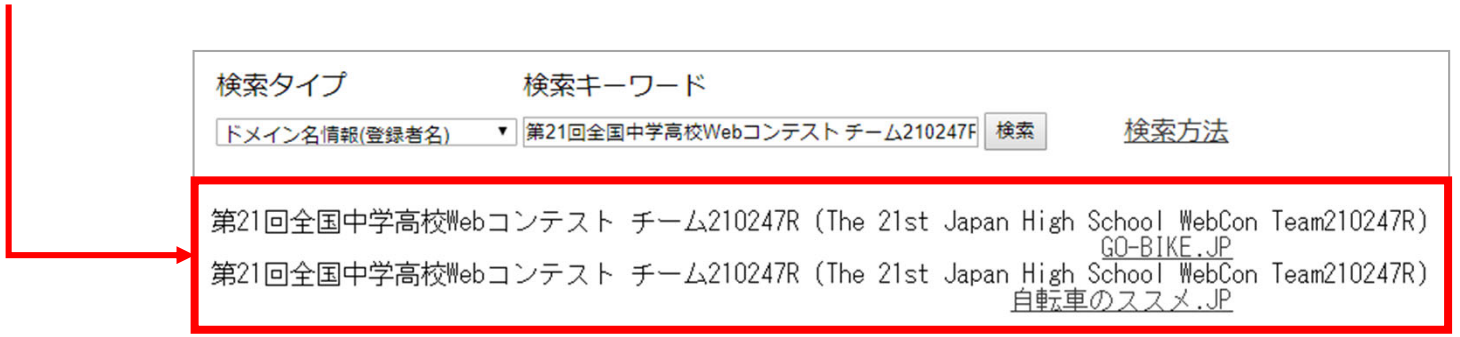
（XXXXXX は自分たちのチームIDを入れてください。） 検索ボタンを押します。

右記は、昨年度の例です。



3. 検索窓の下に、登録されているドメイン名
が出てきます。

右記は、昨年度の例です。



登録されたJPドメイン名がチームのサーバー領域を指しているかどうかを確認

8. ドメイン名の有効期限

登録したJPドメイン名の有効期限は下記の通りです。

ライブラリー作品に選ばれたチーム：
作品がライブラリーに登録されている限り

ライブラリー作品に選ばれなかったチーム：
登録日から2020年3月末まで